

< 運営推進会議議事録 >

実施日時		平成 31 年 3 月 21 日				13:00 ~ 15:00	
参 加 者	お客様 (ご本人様)					計 名	
	ご家族様	佐●様	大●保様	永●様	松●様		
		磯●様(2名)	川●保様				
						計 7 名	
	地域の方	民生委員 足●様	千年希望の杜 井戸田様				2 名
行政関係 (包括センター) の方	南部包括 高梨子様				1 名		
社内 メンバー	所長兼管理者 荻巣	CM 長田					
					計 2 名		
報告 (活動状況)		①ご利用人数(3/21現在):21名					
		平均介護度:2.6(内訳:要介護1:6名 要介護2:5名 要介護3:7名 要介護4:6名 要介護5:1名)					
		②月別推移					
		12月 新規:5名 解約:1名 (登録:20名 月末:20名)					
		01月 新規:4名 解約:1名 (登録:23名 月末22名)					
		02月 新規:2名 解約:3名 (登録:24名 月末:21名)					
		③月別サービス提供内容(ご利用人数と回数)					
		12月 通い:21名 322回 訪問:10名 204回 泊り:14名 152回					
		01月 通い:23名 358回 訪問:12名 234回 泊り:11名 167回					
		02月 通い:24名 368回 訪問:13名 200回 泊り:13名 185回					
評価 要望 助言		④外部活動や行事など					
		資料を基にご案内					
		⑤事故報告					
		事故報告なし。					
		緊急搬送 3件。					
		⑥外部評価					
今後の 課題		質問 協力医療機関はあるのに受け入れてもらえない事について?					
		A 花見川HPのホームDrなどは受け入れてくれる(千年希望の杜 井戸田様より)					
		質問 運営推進会議の参加人数が減ってきているのでは?					
		A 今回は祝日という事で参加人数も多かったのですが、毎回土日祝というのは難しく、年に数回、土日祝を混ぜた日取りを設定したいと思います。					
次回日程		平成 31 年 5 月 中旬 日				14:00 ~ を予定	

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞ ※公表用

【事業所概要】

法人名	セントケア千葉 株式会社	事業所名	セントケア看護小規模多機能佐倉
所在地	(〒 285 - 0819) 千葉県佐倉市寺崎北 4-7-6		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・お客様、ご家族の意向を重視し何でも相談できる体制づくりに力を入れている。
- ・独居の方も安心して暮らしていただけるような支援体制。
- ・離職率 0 % を目指した職場の環境づくり。お客様の安心の為に。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 3 月 21 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 3 月 21 日	出席人数 (合計)	(12) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■ 自事業所職員 (3 人) □ 市町村職員 (人) ■ 地域包括支援センター職員 (1 人) □ 地域住民の代表者 (人) □ 利用者 (人) ■ 利用者の家族 (8 人) □ 知見を有する者 (人) □ その他 (人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
				自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			・相談の際は、ご本人、ご家族、他社ケアマネジャーが一緒に訪問をして頂き見学をしてもらいながらサービス説明をした。	・看護小規模多機能というサービスを知ってもらうのに時間はかかったが、理解をして頂きご利用してくださった方が多くいた。	・開設から今を見ると、少しは良くなったと感じるが、まだまだ45点くらい。でもその分、伸びしろがあるという事。がんばってほしい。
	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		・アセスメントを実施し、月1回の全体ミーティングなどでカンファレンスをし、情報を共有する。	・月1回のミーティングでカンファレンスをし、情報提供は出来たものの伝達が出来ていないこともあったので徹底したい。	・徹底できるよう、お願いしたい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		・医療機関、他社に対して事業所がサービス説明をして理解を深めて頂けるよう広報に努めた。	・各機関に関して、理解していただけるよう広報に努め、結果多くの方がご利用して下さった。	・地元にもっと広げられるような活動を頑張ってほしい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)		・夏祭りなどイベント告知をして地域の方との交流をもてるよう努めた。	・イベントは多くの地域の方に参加して頂き、盛り上がりました。介護相談等も少しももたえる環境になった。	・イベントは盛り上がり、今後とも続けてほしい。
			・ご本人、ご家族の意向を話し合いながら安心して生活が出来るよう支援計画を作成する。	・安心して生活が出来るようご本人、ご家族と密に関わりをもっと持てるようにしたかった。	・所長、CM 含め密に関わりをもてる体制をつくってほしい。

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	・看護小規模多機能というサービスの説明を明確にする。	・サービスを理解するまで時間はかかったものの、利用をすることで利便性がよくわかった。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・アセスメントを根拠のあるものに近づけられるよう頑張っている。 ほしい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・運営推進会議などの場所を利用するなど、イベントをもっと活動的に地域の方との交流を増やしてほしい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	・状態が変化してもご本人、ご家族が安心して生活が出来るよう支援していきたい。	・細かい状態変化を常にスタッフさんが見てくれているので家族としては助かります。

※「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている			○		・やることが多く所長含め、スタッフの皆さんがどれだけ大変が気づかされた。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			・毎月研修をしていることに驚かされた。常に向上する姿勢がみえた。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あま り でき てい ない	全 く でき てい ない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		・業務に追われ育成に関して出来ないのはわかるが、そこはしっかりとやってほしい。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している			○		・法人内でしっかりした体制をつくられているのでそのまま続けてほしい。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			・伝達事項は大変重要なのでちゃんと伝達できるようにしてほしい。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお そ で き て い る	あ ま り で き て い る	全 く で き て い な い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			・漏れないように、続けてほしい。 ・家族の想いをちゃんとスタッフに届けてほしい。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			・事故防止の研修など大変だなーと思った。 ・連携がしっかりとれていることを確認できた。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あま り でき てい ない	全 く でき てい ない		
②	災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			・災害マニュアルを完備されていると聞いて安心した。 【 <u>具体的な状況・取組内容</u> 】 ・緊急時の対応、災害などのマニュアル完備。安否確認方法などの明確化、連絡先リスト作成などできている。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている			○		・24 時間を理解するのに時間はかかると思いますが、家族も協力したいと思います。 【 <u>具体的な状況・取組内容</u> 】 ・アセスメントは CM 中心に行われている。24 時間を理解できるように家族や訪問時に得た情報をアセスメントに落とし理解が深まるようにしたい。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお そ ど き て い る	あ ま り ど き て い る	全 く ど き て い ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている		○			・管理者が看護師であることで他施設よりも安心があります。 ・介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			・何をもって目標設定を構築しているのかもっと詳しく教えてもらいたかった。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することとは重要であるといえます
		【具体的な状況・取組内容】 ・ご本人、家族の希望を真摯に受け止め計画の作成に活かす方向でやっている。その声の中から目標設定を構築できるよう工夫してやっていきたい。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	【具体的な状況・取組内容】 ・お客様の状態を把握し、看護師中心に生活機能の維持、向上を目指す。お客様の出来る事、苦手なことを見極め、悪化につながらないよう工夫して取り組んでいく。				・看護師中心の生活機能維持・向上は家族として本当にありがたい。今後もしっかりしていく。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	【具体的な状況・取組内容】 ・職員同士がミーティングなどでお客様の今後考えられるリスク、状況を話し合い、レクレーションや運動、行事にもっと活かせるよう工夫していく。				・スタッフさんは本当によくやってくれていると思うので、頑張ってもらいたい。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・看護師が関わって頂けているので安心。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
④ 居室への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居室での生活状況の変化を継続的に把握している	○				・状況の変化でどのようにサービスを利用すればいいか相談しやすい体制がとれていて助かります。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居室での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居室での生活状況を把握するためにも重要です
⑤ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				・他部門との連携がちゃんととれていることがわかった。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			・看護師に相談できる体制が出来ているのは家族としても心強い。 [具体的な状況・取組内容] ・看護、介護職員同士が声掛けをし、相談体制はとれている。少しでも変化があれば看護師に相談をすることになっている。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			・訪問看護ステーション併設の強みがあると感じた。 [具体的な状況・取組内容] ・同様に看護と介護が連携出来ている。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			・看護師がいることにより看護小規模担当看護師以外にも情報があるのは心強いと思った。 [具体的な状況・取組内容] ・毎日、申し送りをしている。状況によって看護師からの説明も行っている。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・説明の内容が薄い時がある。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・もう少し専門用語以外で説明して頂けると助かります。 ・看護師の方からも直接説明があったときは勉強になりました。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・看護師からの説明は勉強になる。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができえない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○				・出来る限りの要望は聞いてもらえている。 ・家族の意向とずれていることがあった。 ・家族には伝ええない、本人の声を聴いていただければと思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	○				・状況の変化で病院等の対応をして頂いて本当に助かっている。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			・終末期のケアに関してはまだ実感できていない分、いろいろと教えてほしい。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			・病院等から情報提供がされているのがよくわかった。 [具体的な状況・取組内容] ・病院との連携を強固なものにし、円滑に進められるよう情報共有に努めている。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有している		○			・緊急時の対応がスムーズに出来ていた印象があります。 [具体的な状況・取組内容] ・緊急時の対応は家族から主治医に確認をしてもいながらこちらでも確認をとり、今後の対応方針など情報共有できるようにしている。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			・いつも迅速な対応ありがとうございます。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○				・運営推進会議に出席しているのがいつも同じメンバーにならないよう、開催日程の変更など工夫をしてほしい。 【 <u>具体的な状況・取組内容</u> 】 ・運営推進会議を活用しながら、行政・民生委員の方々にも情報提供し地域に貢献できるようにしている。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ、いろいろな方法での情報発信が、迅速に行われている	○				・観覧できるようならば、今度、確認してみます。 【 <u>具体的な状況・取組内容</u> 】 ・いつでも観覧できるようフアイリングをし、情報発信が迅速に行われるように議事録を迅速に作成している。	✓ 「誰でも見ることができ、方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	○				・営業の方もいると聞いています。いろいろと努力をされている感じは伝わってきます。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
①	看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供						
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的 に実施している	○				・併設の強みを前面に出して頂き頑張ってください。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできています	あまりできていない	全くできていない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れられている	○ 【具体的な状況・取組内容】 ・看護師以外の職員は、たん吸引の研修をまだ受けていないが看護師が常に常駐している為、受け入れをしている。				・今後、たん吸引などが必要になった場合でもサービスを利用できるという事に安心して利用できている。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れられている	○ 【具体的な状況・取組内容】 ・受け入れる体制は出来ているが、状況によりますが、ご本人、ご家族、担当医と相談をしながら受け入れを検討していきたい。				・受け入れの状況は分かりませんが、対応力の高さは感じています。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			・直接、看護師が主治医と連絡をとってくれているので安心できる。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		・今後の課題になりそうだが、理解を深めて活用して頂きたい。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお よ そ で き て い る	あ ま り で き て い ない	全 く で き て い ない		
③	サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・家族と相談をしてくれており、急なサービス変更も対応してくれているなど看護小規模のサービスの使い方をもっと有効活用していきたい。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
④	安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			・今後の対応に期待。 [具体的な状況・取組内容] ・地域関係者のところには出来る限り足を運び相談等をしているが、課題提起や改善策の提案等はばいばい無に等しかったと思う。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番 号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお よ そ で き て い る	あ ま り で き て い ない	全 く で き て い ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			・在宅での過ごし方などをレクチャーしどうすれば在宅介護をしていけるかなど相談、提案を常に行っていたいただいているので、頼りにしています。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番 号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている ③ 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 【具体的な状況・取組内容】 ・ご家族と相談。介護度、状況の変化により計画の見直しを行っている。	・もう少し細かく説明なり相談をして頂ければ助かります。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 【具体的な状況・取組内容】 ・ご本人、ご家族が安心して生活が出来るよう医療連携をしている。	・医療連携に関しては、看護師が滞在していることで安心しています。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番 号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④ 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない 【具体的な状況・取組内容】 ・ 医療、看護と相談をしながら安心して在宅での看取りが出来るような環境づくりを目指している。	・ 看取りに関して実績などが少なく看取りについては、その場の状況を見極めて頂き判断・相談をして頂ければと思います。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」